

日本周産期・新生児医学会  
第42回 周産期学シンポジウム開催概要

(2023年11月6日現在)

テーマ：周産期の栄養と代謝を考える

会長：増本 幸二（筑波大学医学医療系小児外科）

会期：2024年1月26日（金）、27日（土）

会場：つくば国際会議場

■1月26日（金）14:00～18:20（予定）

【プレングレス】14:00～16:10（予定：専門医共通講習1単位【地域医療】）

講演1. わが国における妊婦の栄養管理の歴史：2021年新たな妊婦の体重増加指導の目安策定までの変遷

座長：佐藤豊実（筑波大学医学医療系 産婦人科学）

演者：伊東宏晃（浜松医科大学産婦人科学）

講演2. The First 1,000 daysにおける早産低出生体重児の栄養管理と展望

座長：宮園 弥生（筑波大学医学医療系 小児科学）

演者：板橋家頭夫（愛正会記念茨城福祉医療センター長）

講演3. 短腸症候群の栄養管理 update

座長：奥山宏臣（大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 小児成育外科学）

演者：加治 建（久留米大学医学部外科学講座小児外科部門）

【共催セミナー】16:15～17:15（ファイザー株式会社）

専門医制度委員会報告 17:20～18:20

座長・演者：

高橋尚人（B領域委員長／東京大学医学部附属病院小児・新生児集中治療部）

関沢明彦（A領域副委員長／昭和大学医学部産婦人科学講座）

■1月27日（土）8:20～17:35（予定）

周産期学シンポジウム：周産期の栄養と代謝を考える

【午前の部】新生児の栄養と代謝を考える

座長：東海林宏道（順天堂大学小児科）

上原秀一郎（日本大学医学部外科系小児外科学分野）

（予定：産婦人科領域講習2単位、小児科領域講習1単位）

1. 周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告

鷺尾洋介（岡山大学大学院医歯学総合研究科小児急性疾患学講座）

2. 母体の栄養状態が胎児の血中酸化状態へ与える影響

長野伸彦（日本大学医学部附属板橋病院小児科・新生児科）

3. 超低出生体重児の修正満期における血中脂肪酸分析 正期産児の臍帯血との比較

金井 雄（筑波大学小児科）

4. 早産児における多価不飽和脂肪酸栄養とオキシリピンの関係  
菅沼広樹（順天堂大学小児科）
5. プロバイオティクスが極低出生体重児の腸内環境に与える影響  
小林 玲（新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター）
6. 超早産児における修正 40 週までの成長指標、成長度と 3 歳時神経発達予後の関連性の検討  
前田剛志（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）
7. 総合討論

【ランチョンセミナー】（ミヤリサン製薬株式会社）

【共催セミナー】（武田薬品工業株式会社）

【午後の部】妊娠中の栄養と代謝を考える

座長：市塚清健（昭和大学横浜市北部病院産婦人科）  
難波文彦（埼玉医科大学総合医療センター小児科）

（予定：産婦人科領域講習 2 単位、小児科領域講習 1 単位）

1. 周産期学シンポジウム運営委員会 全国調査報告  
金川武司（国立循環器病研究センター産婦人科）
2. [基調講演] 妊娠中の栄養の課題～「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」の活用に向けて  
瀧本秀美（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）
3. 子どものメンタルヘルス改善を目指した妊娠中至適体重増加量の提案  
寺田周平（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野／聖隷浜松病院産婦人科）
4. 妊娠初期の血糖変動と妊娠高血圧症候群：周産期領域における血糖変動の臨床的意義とバイオマーカー  
田野 翔（名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学）
5. Fetal Origins of Obesity：超音波を用いた胎児脂肪量の評価とその規定因子の解明  
池ノ上学（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）
6. 糖代謝異常合併妊婦の個別化栄養療法に向けた個人代謝量の推移調査  
衛藤英理子（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科産科・婦人科学教室）
7. 総合討論

シンポジウム参加費（予定）：

会員および医療従事者	： 12,000 円（事前・予定），当日支払いは検討中
看護師，保健師および助産師	： 5,000 円（事前・予定），当日支払いは検討中
初期研修医，大学生，専門学校生	： 無料

事務局（連絡先）：株式会社プロコムインターナショナル

TEL：03-5520-8821

42symposium@procom-i.jp